令和6年第9回玉名市農業委員会総会議事録

令和6年8月5日（月）午後2時 玉名市役所 第2委員会室

1. 本日の出席農業委員は、次のとおりである。

1番	下川 安	2番	高田 優子	3番	村上 孝夫	4番	梅田 政次郎
5番	坂本 正敏	6番	小山 包昭	8番	本田 多美子	9番	上田 龍介
10番	西依 雅孝	11番	村上 孝	12番	植田 勝登	13番	高本 昌揮
14番	宮永 義一	15番	上土井 幸治	16番	古田 知明	17番	池田 秀昭
18番	後藤 雄一	19番	坂門 聡一				

2. 本日の欠席農業委員は、次のとおりである。

7番 東 英治

3. 本日の出席農地利用最適化推進委員は、次のとおりである。

推1	水本 信之	推2	岡田 正治	推3	佐藤 浩光	推4	竹下 祐一
推5	小山 高廣	推6	縄田 伊知郎	推7	関 幸次郎	推8	荒木 雄二
推9	平野 雅久	推10	徳山 幸博	推11	柴尾 覚	推12	森尾 由成
推13	美崎 毅	推14	島村 和久	推15	大家 保	推16	今上 隆
推17	坂口 春義						

4. 本日の欠席農地利用最適化推進委員は、次のとおりである。

推18 中村 輝美 推19 丸山 和則

5. 説明のために出席した職員は、次のとおりである。

局用 二階堂正一郎 次長 西山 美和 係長 園木 俊範 主任 大原 三和
主任 村上 寛子

6. 議事参与が制限された委員数は、次のとおりである。

1名

議 題

第40号 農地の買受適格者証明願（耕作目的）について
第41号 農地法第3条の規定による許可申請について
第42号 農地法第4条の規定による許可申請について
第43号 農地法第5条の規定による許可申請について
第44号 農用地利用集積計画の決定について

1. 開 会

○事務局長（二階堂正一郎君） それでは、会議を始めます。本日は、農業委員総数19名のうち東委員から欠席の届けがあっており、18名の御出席でございます。

また、最適化推進委員は、総数19名のうち丸山委員と中村委員から欠席の届けがあっており、17名の御出席でございます。

玉名市農業委員会会議規則第7条の規定により会議は成立しております。

それでは、ただいまより令和6年第9回玉名市農業委員会総会を開会いたします。

-----○-----

2. 会長挨拶

○事務局長（二階堂正一郎君） まず下川会長より御挨拶をいただきまして、引き続き、会議規則第5条の規定により議長をお願いし、議事の進行をお願いいたします。

○会長（下川 安君） 改めまして皆様こんにちは。先日は1日、臨時総会ということで大変お疲れさまでした。それからまた2日は現地調査もあったと思いますし、本日は総会ということで連日ですけれども会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

毎日本当に暑い日が続いています。新聞によるときのうは玉名が38.4℃あったということで、記録を更新したというような記事が載っていました。一雨ほしいところですけども雨もなかなか降りそうで降らないような天気、本当に皆様、体調には気をつけていただきますようよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日は改選後の最初の議案審議ということ。農地法3条の許可申請をはじめ議案が53件、それから報告として21件提案しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、きょうは改選後の初めての会議ということで、私のから2点ほどお願ひがあります。1点目はですね、先月、全国農業会議それから熊本県の農業会議の福原会長がこちらに來られて、何かというと、全国農業新聞のですね、講読をというような御依頼であります。こういう農業委員会系統の新聞ということで、皆様に新聞の購読をお願ひしたいというようなお話がありました。今、全部の県です、ね、事務局の話にありましたけれども、農業委員と推進委員で合わせて100%をとっている県が2件あるそうです。熊本市が今、80何パーセントなので、100%を目指したいというようなお話もされておりました。農業委員会のほうも情報の提供とかいろいろありますので、今、講読されている方はこれからも継続をお願ひしたいと思ひますし、講読されていない方は講読をよろしくお願ひしたいと思ひます。きょうもですね、県の農業会議のから來られて研修もあります。その中でもまた話があると思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

2点目はですね、総会るとき携帯電話は切っていただくかマナーモードにしていた
ただきたいということをお願いしたいということと、あとは録音もとってあります
ので、私語はちょっと控えていただけたらと思います。

よろしくお願ひしたいと思ひます。

-----○-----

3. 議事録署名委員指名

○議長（下川 安君） それでは早速議事に入りたいと思ひます。

本日は議第40号から44号までの53件の議案の審議、それから、報告は21
件の報告があります。皆様方の慎重なる御審議どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の議事録署名は、委員番号5番の坂本正敏委員、それと6番の小山包昭委員
にお願ひいたします。

なお、発言の際は、委員番号及び氏名を述べた上で発言をいただきますようよろ
しくお願ひします。併せて、採決の際は議決権のある農業委員のみで挙手をよろし
くお願ひいたします。

-----○-----

4. 議 事

○議長（下川 安君） それでは、議第40号農地の買受適格者証明願（耕作目的）に
ついてを議題といたします。

事務局より説明を求めます。

○事務局長（二階堂正一郎君） 議案の1ページをお願ひいたします。

議第40号農地の買受適格者証明願（耕作目的）について。下記のとおり公売に
付される農地の買受適格証明願いを承認するものとする。令和6年8月5日提出、
玉名市農業委員会会長、下川 安。

横島町の申請で、競売物件が横島町の畑22,401㎡外1筆、計25,101㎡、
入札期間が令和6年9月27日午前11時から午前11時10分までで、当日午前
11時10分が開札日時となっております。

なお、付帯決議としまして、下段に記載しておりますが、買受適格証明の交付を
受けた者が、最高価買受願出人または次順位買受願出人となり、3条許可申請が出
された場合は、この審議をもって意見を付して許可するものです。以上でございま
す。

○議長（下川 安君） 事務局説明が終わりましたので、担当委員の説明をよろしくお
願ひいたします。

○2番（高田優子君） 農業委員2番の高田です。1番の案件につきまして説明いたし
ます。

願出人が競売に入札するため、買受適格者証明を願い出たものであります。願出人は労働力、農機具等の所有状況等、何ら問題なく許可相当だと思います。なお、耕作作物は牧草と聞いております。

御審議のほどよろしくお願いいたします。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

委員の説明が終わりましたけれども、皆様のほうから御意見、御質問はございませんでしょうか。

○5番（坂本正敏君） 農業委員5番、坂本です。

この案件についてですね、前回、私の任期中に3件ほどあったと思います。入札期間は9月27日まで、9月20日に願出人が現れた場合、また、総会を開いて審議する、前回はそうになっていましたけど、そのへん何か簡素化して、会長一任とか、そういう形で集まらずに総会ができないものかなと思ひまして質問しました。

○事務局長（二階堂正一郎君） なるべくですね、間に合うようにということでの臨時総会をとすることは決められておりますけれども、先日の説明資料の中にありましたけど、農業委員の運営委員会の設置要領というのを先日お渡ししていると思ひます。その中にですね、農業委員を決めたあとの話なんですけれども、農業委員の中だけでの審議というのができることになります。会長一任ではなくて、運営委員会の7名はお集まりいただいて審議をしていただくという形はとれるということです。（「運営委員といひますと」と呼ぶ者あり）まだ運営委員自体を今回は決められていないので、きょう決めていただくかなという予定にしております。以上です。

（「はい、わかりました」と呼ぶ者あり）

○議長（下川 安君） ほかにございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） ほかに御意見、御質問なければ採決に移りたいと思ひます。

農地の買受適格者証明願（耕作目的）について、議案どおり許可相当と承認することに異議のない方は、挙手をよろしくお願いいたします。

（全員 挙手）

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。採決の結果、異議なしと認め、議第40号につきましては、承認することに決定いたしました。

続きまして、議第41号農地法第3条の規定による許可申請についてを議題といたします。件数は7件です。そのうち受付番号1番は、玉名市農業委員会会議規則第12条の議事参与の制限というのがありますけど、その規定に梅田委員が該当するため、受付番号1番を除いて受付番号2番から7番まで先に採決をして、1番の審議前に梅田委員の退室を求めたいと思ひます。

それでは、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局長（二階堂正一郎君） 2ページになります。議第41号農地法第3条の規定による許可申請について。農地法第3条第1項の規定による下記農地の所有権移転及び使用収益権設定許可申請について許可するものとする。令和6年8月5日提出、玉名市農業委員会会長、下川 安。

2番、大浜町の申請人で、大浜町の田2,985㎡外1筆、計3,974㎡を子に贈与するものです。

3番、熊本市の申請人で、中坂門田の畑16,215㎡を労力不足と規模拡大のため売買するものです。

3ページをお願いいたします。

4番、岱明町と岡山県倉敷市の申請人で、岱明町の畑402㎡を労力不足と規模拡大のため売買するものです。

5番、天水町の申請人で、天水町の畑860㎡を労力不足と相手方の要望のため売買するものです。

すみません、訂正をお願いしたいと思います。6番ですけれども、6番の申請理由です。譲渡人のほうの申請理由が労力不足となっておりますが、ここは相手方の要望になります。譲受人の申請理由ですけれども、ここはリハビリ用農作業用地の取得という形になります。

説明を続けます。6番、天水町の申請人で、天水町の畑642㎡を相手方の要望とリハビリ農業用地取得のため売買するものです。

7番、天水町の申請人で、天水町の畑902㎡外3筆、計2,595㎡を労力不足と規模拡大のため売買するものです。

以上6件、合計24,688㎡につきまして、農地法第3条第2項各号の禁止規定から申請内容を審査し、取得後の全ての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係も問題ないことから、許可要件の全てを満たしているものと判断し、御提案しております。

また8月2日に地元委員同道の上、現地調査も行っております。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、事務局の説明が終わりましたので、受付番号2番から順に担当委員の説明をお願いいたします。それから、連続して説明される方は続けてよろしく申し上げます。

それでは、2番をお願いいたします。

○5番（坂本正敏君） 農業委員5番、坂本です。2番の案件について御説明します。譲渡人と譲受人は、親子で子へ贈与するものです。トラクター、田植機等などあ

り、問題ないと思います。

御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、3番をお願いいたします。

○8番（本田多美子君） 農業委員8番、本田です。3番の案件について説明します。

譲渡人は高齢で労力不足、譲受人は専業農家で、農機具等を所有されており、規模拡大です。

現地確認した結果、何ら問題なく許可相当と判断しました。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、4番をお願いいたします。

○推11番（柴尾 覚君） 推進委員11番、柴尾です。4番の案件について説明いたします。

場所は旧208号線ホームセンターから荒尾方面に1km先におおとり幼稚園があります。幼稚園の駐車場から南西へ300m先の畑402㎡で、これを譲渡人は労力不足ということです。譲受人は規模拡大で購入、機械は全てそろっていますので問題ないと思いますので、審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、5番をお願いいたします。

○18番（後藤雄一君） 農業委員18番、後藤です。5番の案件について御説明します。

貸人は労力不足、借人は相手方の要望ということで、畑も隣同士ということでした。

現地確認をしたところ、何ら問題はありませんでした。御審議のほどよろしく申し上げます。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、6番、7番は同じ委員ですので、続けてよろしく申し上げます。

○19番（坂門聡一君） 農業委員19番、坂門です。6番の案件について御説明いたします。

先ほど訂正ありましたけど、譲渡人は相手方の要望、譲受人はリハビリ用農作業用地を取得ということですが、譲渡人、譲受人ともに資料のほうを見てくださいとわかりますように、同一グループの事業体です。譲渡人のほうにですね、もともと農園があるんですが、作業そのものは事業の内容によりまして、必要である譲受人のほうが今回642㎡を譲り受けるということでございます。

現地調査をいたしましたけど、畑としてちゃんとありますので、特に問題ないと思

います。御審議のほどよろしく願います。

引き続きまして、7番の案件について御説明申し上げます。

譲渡人は高齢のため労力不足、譲受人は規模拡大ということで、譲受人のほうの事務所からですね、50m程度のところに譲渡人の圃場がございまして、両者の意見が合いまして今回の申請となっております。譲受人はですね、大規模経営でもございまして。機械、人員ともに充実しておりますので、問題ないと思います。

御審議のほどよろしく願います。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

3条申請について、2番から7番までの委員の説明が終わりましたけれども、皆さんのほうから御意見、御質問等はございませんでしょうか。

はい、本田委員。

○8番（本田多美子君） 農業委員8番、本田です。4番の案件について質問なんですが、譲渡人の農業法人もよく出てくるし、この受人の法人は岡山県で、何かちょっと関係があるのかな。それと原野の402㎡を40万円ちょっとぐらいの価格で買われるということで、何を作られるのかちょっと教えていただけますか。

○主任（村上寛子君） 事務局、村上です。

この譲渡人の法人がまず譲渡人の法人を買収されたということで、去年ですね、令和5年の6月に農地を全部譲渡人の法人から譲受人の法人に売買ということで申請許可をしているんですけれども、この1筆だけですね、登記が原野だったということもあって、1筆だけちょっと漏れていたということで、今回申請をされています。ここで何を作られるかということ、デントコーンという牛用の餌を作られるそうです。以上です。

○8番（本田多美子君） わかりました。ありがとうございました。

○議長（下川 安君） よろしいですか。ほかにございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） ほかに質問がなければ採決に移りたいと思います。

議第41号農地法第3条の規定による許可申請2番から7番の6件につきまして、原案どおり許可することに異議のない方は挙手をよろしく願います。

（全員 挙手）

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

採決の結果、異議なしと認め、議第41号の受付番号2番から7番につきましては、許可することに決定いたしました。

ここで議第41号の受付番号1番の審議に入る前に、議事参与の制限規定によって、梅田委員に退室を求めます。

○議長（下川 安君） 梅田委員が退室されましたので、審議を行います。

それでは、事務局より1番の説明をお願いいたします。

○事務局長（二階堂正一郎君） 2ページをお願いいたします。

1番、中と滑石の申請人で、滑石の田1,921㎡を労力不足と相手方の要望のため売買するものです。

1番につきましても、農地法第3条第2項各号の禁止規定から申請内容を審査し、取得後の全ての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係も問題ないことから、許可要件の全てを満たしているものと判断し、御提案しております。

よろしくをお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、事務局の説明が終わりましたので、1番について担当委員の説明をよろしくをお願いいたします。

○推2番（岡田正治君） 2番推進委員、岡田です。

場所はですね、滑石の一番南側、堤防の下に位置しまして、広さは1,921㎡、譲渡人は労力不足、譲受人は相手方の要望です。現況は田となっておりまして、譲受人はですね、ここで来年ぐらいからでしょうか、水田として田を作る方向でおりますが、現在ここは要するに砂、砂利を入れて防除してあったんですよ。一応上を10cm～15cmぐらいはとって原状回復をしておりますが、まだまだ水田としては使い物にならない状態ですね、来年の稲作にはもうちょっと手を入れて水田として使えるようにする予定です。また、譲受人は機械その他いろいろ持っておりまして、何ら問題ないかと思えます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございます。

3条申請受付番号1番について委員の説明が終わりました。

皆さんから御意見、御質問はございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） なければ採決に移ります。

議第41号農地法第3条の規定による許可申請1番につきまして、原案どおり許可することに異議のない方は挙手をよろしくお願ひします。

（全員 挙手）

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございます。

採決の結果、異議なしと認め、議第41号の受付番号1番については、許可することに決定いたしました。

これで議第41号の7件全て採決が終わりました。

ここで梅田委員の入室を求めます。お願いします。

— 8番 梅田政次郎君 着席 —

○議長（下川 安君） 梅田委員が入室されましたので、引き続き審議を行います。

続きまして、議第42号農地法第4条の規定による許可申請についてを議題とします。件数は4件です。なお、1番につきましては顛末書、3番と4番につきましては始末書の添付がありますので、委員の説明の前に事務局担当者が読み上げます。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○事務局長（二階堂正一郎君） 4ページになります。

議第42号農地法第4条の規定による農地の転用許可申請について。農地法第4条第1項の規定による下記農地の転用許可申請について意見決定するものとする。令和6年8月5日提出、玉名市農業委員会会長、下川 安。

1番、申請物件が玉名の畑、現況宅地324㎡で、転用目的は貸事務所です。農地区分は、都市計画法に規定する用途地域内の農地で第3種農地と判断しております。

2番、申請物件が天水町の田834㎡で、転用目的は農家住宅です。農地区分は、おおむね10ha以上の一団の農地内に所在する農地で、第1種農地と判断しております。第1種農地は原則不許可となるところですが、申請地の周辺において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落接続して設置されるものであり、例外的に許可は可能となっております。

3番、申請物件が天水町の畑、現況雑種地392㎡外6筆、計2,001.77㎡で、転用目的は農業用施設です。農地区分は、おおむね10ha以上の一団の農地内に所在する農地で、第1種農地と判断しております。第1種農地は原則不許可となるところですが、申請地の周辺において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落接続して設置されるものであり、例外的に許可は可能となっております。また、報告第20号16番と関連しております。

5ページをお願いします。

4番、申請物件が天水町の田、現況畑9.87㎡外1筆、計34.87㎡で、転用目的は進入路及び排水路です。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。議第43号10番と11番と関連しております。

以上4件、合計3,194.64㎡につきまして、申請内容を農地用許可基準全ての項目ごとに適合するか審査した結果、いずれも不都合のないものと判断し、御提案しております。

また8月2日に地元委員同道の上、現地調査も行っております。よろしく御審議

をお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、事務局の説明が終わりましたので、受付番号1番から委員の説明をお願いしたいと思います。1番には顛末書がでていますので、事務局の担当者が読み上げます。

○係長（園木俊範君） — 1番の案件について顛末書朗読 —

○議長（下川 安君） はい、顛末書が読み上げられましたので、委員の説明をお願いします。

それでは1番、お願いします。

○9番（上田龍介君） 農業委員9番、上田です。1番の案件について御説明いたします。

場所につきましては、新幹線の玉名駅から北方向へ約500mぐらいの地点にあります。事業の目的については、農業用倉庫及び作業場として建設されたものが、事務所として利用できる状態にあったため、今度は貸事務所として利用すべく本申請に至っているということでございます。給排水計画については、給水はありません。雨水については、地下浸透により処理をする。それから生活雑排水、汚水についてはありません。被害防除計画については、造成中の被害防除等の方策については、今回は完全に調整済み、建築済みのため特にありません。それから、完成後の被害防除方策については、隣接地には何の悪影響もないと思います。ただ、万一被害が生じた場合は、転用者が自己の責任において補償するというところでございます。

何ら問題ないのかなと判断しました。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、2番をお願いいたします。

○19番（坂門聡一君） 2番の案件について御説明いたします。農業委員19番、坂門です。

この案件はですね、申請人の現行の建物から農家用住宅建設への申請です。本件の最初の入り口はですね、国道501号線金比羅橋の架け替えの事業に伴う転居によりまして、先ほど説明がありましたとおり農家住宅を建設するものであります。農家住宅102.68㎡、それと農業用倉庫91㎡の合わせて193.68㎡の施設面積となります。給排水計画は井戸水を利用、生活雑排水は下水道へ流します。雨水については自然浸透、浸透からあふれる分に関しましては水路に放流するというところでございます。この件については、玉名平野の土地改良区との調整は済んでおられます。被害防除計画については、造成中の土砂等の流出はないように十分配慮します。近隣農地への防除につきましては、申請者の周辺住宅がありますが、農地、農作物に危険が及ばないように配慮するというところでございます。

昨日、地元委員同道で現地確認いたしました。何ら問題ないものと判断いたします。どうかよろしく願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございます。

次の3番には始末書がでていますので、始末書を事務局担当者が読み上げます。

○係長（園木俊範君） — 3番の案件について始末書朗読 —

○議長（下川 安君） はい、始末書が読み上げられましたので、受付番号3番について委員の説明をよろしく願いいたします。

○19番（坂門聡一君） 続きまして坂門です。3番の案件につきまして御説明申し上げます。

ただいま事務局から始末書の朗読がありましたが、本案件の申請地はですね、本人の所有の畑、それも自宅周辺にある畑を利用されることとなります。今出てきました農業用資材置場、集荷場、格納庫、駐車場と進入路と大きなみかん選果場ということで、6件のですね、農業用施設をここに配置しております。全ての畑がですね、同じところに集積しております。それに併せて先ほど申しました施設を建設する、建設済みということになりますが、になっております。農業、みかん経営上この施設がどうしても必要ということで、先をもってですね、残念ながら利用してありましたが、今回の議案でこの申請を上げることで条件を整わせていただきたいということで申請人からお話がありました。給排水計画はございません、雨水の浸透も自然浸透でございます。既に建設また利用中ですので、被害防除計画等は特に問題はございませんでした。それと近隣農地と出ておりますが、近隣農地は全て自己所有の畑が近隣に続いておりますので、これも問題はないと思います。

本件の現地を調査しましたが、同道しました委員さん方からも特に指摘等、問題はないということで確認しております。御審議のほどよろしく願いいたします。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございます。

続きまして、受付番号4番につきましても始末書が出ていますので、事務局担当者が読み上げます。

○係長（園木俊範君） — 4番の案件について始末書朗読 —

○議長（下川 安君） はい、始末書が読み上げられましたので、受付番号4番につきまして、委員の説明をよろしく願いいたします。

○18番（後藤雄一君） 農業委員18番、後藤です。4番の案件について説明いたします。

場所はJAたまな天水支所の道前です。申請地は第2種農地で、転用目的は進入路及び排水路です。申請地は先ほど事務局から始末書が読み上げられましたとおり、

申請者の娘さんが申請者の住所裏に住宅を建設するにあたり判明したもので、進入路、排水路として既に利用されています。議案書に記載のとおり、1筆は持ち分の4分の1を、もう1筆は持ち分の2分の1の転用ということです。残りの持ち分につきましては、このあと農地法第5条転用に出てまいります。

8月2日に現地調査を行いました。既に進入路及び排水路として利用されていますが、始末書のとおりで問題はないと思います。御審議のほどよろしく願います。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

4条申請につきまして委員の説明が終わりましたけれども、皆さんのほうから御意見、御質問はございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） 御意見、御質問がなければ採決に移らせていただきます。

議第42号農地法第4条の規定による許可申請について、原案どおり許可することに異議のない方は、挙手をよろしく願います。

（全員 挙手）

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。採決の結果、異議なしと認め、議第42号については、許可することに決定いたしました。

次に、議第43号農地法第5条の規定による許可申請についてを議題といたします。件数は11件です。

なお、7番につきましては始末書の添付がありますので、委員の説明の前に事務局担当者が読み上げます。

それでは、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局長（二階堂正一郎君） 6ページになります。

議第43号農地法第5条の規定による農地の許可申請について。農地法第5条第1項の規定による下記農地の転用許可申請について意見決定するものとする。令和6年8月5日提出、玉名市農業委員会会長、下川 安。

1番、申請物件が中の畑156㎡で、転用目的は進入路です。農地区分は、都市計画法に規定する用途地域内の農地で第3種農地と判断しております。

2番、申請物件が中の田、現況畑1,124㎡で、転用目的は駐車場です。農地区分は、都市計画法に規定する用途地域内の農地で第3種農地と判断しております。

3番、申請物件が中尾の田18㎡外6筆、計4,832㎡で、転用目的は宅地分譲となります。農地区分は、都市計画法に規定する用途地域内の農地で第3種農地と判断しております。

7ページをお願いいたします。

4番、申請物件が中尾の田1,009㎡外2筆、計2,747㎡で、転用目的は宅地分譲です。農地区分は、都市計画法に規定する用途地域内の農地で第3種農地と判断しております。

5番、申請物件が滑石の田498㎡で、転用目的は個人住宅です。農地区分は、おおむね10ha以上の一団の農地内に所在する農地で、第1種農地と判断しております。第1種農地は原則不許可となるところですが、申請地の周辺において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落接続して設置されるものであり、例外的に許可は可能となっております。

6番、申請物件が寺田の畑702㎡で、転用目的は個人住宅及び建築資材置場です。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。

7番、申請物件が大倉の畑、現況雑種地157㎡外1筆、計1,300㎡で、転用目的は駐車場です。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。

8ページになります。

8番、申請物件が下小田の田464㎡で、転用目的は個人住宅です。農地区分は、おおむね10ha以上の一団の農地内に所在する農地で、第1種農地と判断しております。第1種農地は原則不許可となるところですが、申請地の周辺において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落接続して設置されるものであり、例外的に許可は可能となっております。これは報告第20号17番と関連しております。

9番、申請物件が天水町の田、現況畑460㎡で、転用目的は個人住宅です。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。

10番、申請物件が天水町の田、現況畑9.87㎡外1筆、計34.87㎡で、転用目的は進入路・排水路となります。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。

11番、申請物件が天水町の田、現況畑9.87㎡で、転用目的は進入路となります。農地区分は、農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断し、ほかに適当な場所がないものと判断しております。これも議第42号4番と関連しております。

以上11件、合計12,327.74㎡につきまして、申請内容を農地用許可基準全ての項目ごとに適合するか審査した結果、いずれも不都合のないものと判断し、

御提案しております。

また8月2日に地元委員同道の上、現地調査を行っております。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、事務局の説明が終わりましたので、受付番号1番から順に担当委員の説明をお願いいたします。続けて説明される場合は続けて説明をお願いいたします。

それでは1番、2番につきましては同じ委員さんですのでよろしくをお願いいたします。

○推1番（水本信之君） 推進委員1番、水本です。1番と2番の案件について御説明いたします。

まず1番は、申請地は私立高校の東側300mぐらいのあたりです。転用目的は進入路、申請人は、本申請地東側奥側の宅地に居住しております。現在の宅地は東側の進入路のみしかなく、狭い道路を進入していく状況であり、かつ、進入路橋部分は借地状態であり、新たな進入路を確保できないかと思案しておりました。今回の申請地はもともと平成17年、平成15年に配水管理設用地として当時の所有者から譲受人側が借り受けていた土地であり、今回、前所有者から相続されている譲渡人が隣接地を売却されると聞き、本件土地部分の譲り受けをお願いしたところ承諾されたものです。転用面積は156㎡、給排水計画、給水はなし、雨水は自然浸透、進入路は砂利敷き程度で利用しますので、隣接地は農地もなく被害は発生しません。

現地調査の結果、問題なしと判断します。御審議のほどよろしくお願ひします。続いて2番の案件について御説明します。

申請地は生活用品店北側100mぐらい、転用目的は駐車場、事業目的の必要性は、今回、玉名市中にて自動車販売店として事業をするにあたり、店舗予定地だけでは手狭であることから、申請地を社員駐車場、納車前の一時仮置場として利用する駐車スペースは46台分です。給排水計画、給水はなし、雨水は排水溝を設け、敷地内に集水桝を設置し、東側側溝に接続、放流するそうです。北側と南側はブロックで敷地境界を囲む、西側はL型ブロックを設置し土砂の流出を防ぐ、万が一近隣に影響を及ぼした場合には申請者のほうで対処する。

現地調査の結果、問題ないと判断します。御審議のほどよろしくお願ひします。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございます。

続きまして、3番、4番も同じ委員さんですので、続けてよろしくお願ひします。

○3番（村上孝夫君） 農業委員3番、村上です。3番4番の案件について説明します。

3番の案件は、申請地は中尾の里近くにあります。転用面積は4,832㎡です。

宅地分譲11区画と都市計画道路が入ります。給排水は玉名市上水道を利用します。雨水、生活雑排水、雨水は玉名市下水を接続して排水します。

現地調査した結果、何ら問題ないと思います。御審議のほどよろしく申し上げます。

続きまして、4番の案件について説明します。

申請地は中尾の里から300mぐらい行ったところにあります。宅地分譲9区画で2,747㎡です。給排水計画として、玉名市上水道を利用します。雨水、生活雑排水、汚水は玉名市下水道を利用し、雨水は新設道路側の溝で南側の排水口へ放流します。万が一被害が発生した場合は、申請人が対応するとのことでした。

現地調査した結果、何ら問題ないと思います。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、5番をお願いします。

○4番（梅田政次郎君） 農業委員4番、梅田です。5番の案件について御説明します。

個人住宅、親子間の使用貸借で、事業面積は498㎡になっております。給排水計画としては、雨水は集水桝にて集水し、道路側溝へ放流する。生活雑排水、汚水は合併浄化槽を経て市道側溝へ放流。造成中、完成後の被害防除対策としては、近隣に土砂の流出がないよう留意しますということです。万一周辺に被害が発生した場合は、実費にて復旧、改善するとのことでした。親子間での使用貸借で、実家の隣に建築ということで、現地調査の結果、何ら問題ないと思われるので、御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、6番をお願いいたします。

○8番（本田多美子君） 8番農業委員、本田です。6番の案件について説明します。

申請地は国道208号線沿いのドラックストアよりバイパス沿いの農道を北東へ700mほど行った農地です。申請人は現在アパート住まいですが、5人家族で手狭であり、また、左官業を営む申請人は、資材置場も実家のスペースを借りている状態です。実家には資材のほかコンボ1台、トラック2台、ミキサー車1台置いてあります。毎朝早朝より作業に出動する準備をしますが、資材をトラックに積載する際に騒音が発生するので、周囲に住宅がない場所を探していました。申請地は資材置場も確保できる十分な面積があり、申請人の住宅用地としては最適であり、本申請に至った次第です。転用面積は702㎡、うち個人住宅404㎡、資材置場298㎡、個人住宅1棟、木造平屋建てです。給排水計画として、給水は上水道、生活雑排水及びし尿は、合併浄化槽で処理後、道路側溝に接続、雨水も道路側溝に排

水します。被害防除計画として、隣地境界線に沿ってブロック塀を設置する。転用にあたっては、近隣農地への被害の発生がないよう十分注意する。万が一被害が発生した場合は、申請人が責任をもって対処するとのことでした。

以上、現地調査した結果、特に問題ないと思いますので、御審議のほどよろしく申し上げます。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、次の7番には始末書が出ていますので、事務局担当者が読み上げます。

○係長（園木俊範君） — 7番の案件について始末書朗読 —

○議長（下川 安君） はい、7番の始末書が読み上げられましたので、7番につきまして、委員の説明をよろしく願いいたします。

○推6番（縄田伊知郎君） 推進委員番号6番、縄田です。7番の案件について説明いたします。

場所は、保育園駐車場西側の隣接した畑です。賃借人は保育園を運営しています。各施設の利用者増加とそれに伴う職員の増加により、駐車場用地に不足が生じており、職員及び利用者の安全並びに送迎混雑時間帯の前面道路の交通にも支障を及ぼす状況にあり、これらの問題を解決し、安心安全な施設運営を行うためにこの事業が必要不可欠であると考えての申請となります。

事業概要は、事業面積は1,300㎡、そのうち始末書に読まれた現在駐車場として利用されている土地が157㎡です。30台分の駐車場の用地となります。給排水計画はありません。雨水は砂利、砂敷きよる自然浸透です。被害防除計画としましては、南側・西側隣接地に境界明示を兼ねてのコンクリートブロックを設置します。被害防除計画としましては、境界土地に十分な余裕を持った利用をすることで、砂・砂利等が飛散しないよう十分気をつけるほか、被害が生じた場合には、賃借人の責任において適切に対処するとのことでした。

現地調査の結果、何ら問題ないと判断いたします。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして8番をお願いいたします。

○9番（上田龍介君） 農業委員9番、上田です。

この件につきましては、使用借人の父母の住宅に隣接している農地に個人住宅を建てるという案件です。農地の面積は464㎡、建坪は109㎡ということになっております。給排水計画につきましては、給水方法は玉名市の上水道を利用する。それから雨水の処理方法については、雨樋を経て砂または砂利敷きの敷地に排水をして、敷地の雨水とともに自然浸透を図るとともに、余剰雨水については、南側隣

接の道路部分に向けてゆるやかな傾斜を設けて、接道道路の既存側溝に排出をするということです。それから、生活雑排水の処理方法については、合併浄化槽による処理後、北側隣接地に設置されている排水路を経て、同土地北側の排水溝に排出をするということです。それから、被害防除計画については造成中の被害防除についても、南側及び西側農地の境界に境界明示を兼ねたコンクリートブロックを設置するほか、必要に応じて適切に対応するという事です。それから、近隣農地の被害防止方策につきましては、上記のほかにはあまり影響ないと考えておりますが、損害が生じた場合は、使用借人の責任において適切に対処をするということでございました。

調査した結果、何ら問題ないと判断いたしました。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

続きまして、9番、10番、11番は同じ委員さんですので続けてよろしく願いいたします。

○18番（後藤雄一君） 農業委員18番、後藤です。9番の案件について説明いたします。

申請地はJAたまな天水支所の道向かいです。転用目的は個人住宅で、親子間の使用貸借権の設定です。今回建設する個人住宅の隣接地に両親が居住しており、安心して子育てができるとのことでこの地を選ばれたそうです。住宅は木造平屋建て、建築面積99.57㎡で建設されます。水は井戸水、汚水、生活雑排水は合併浄化槽を設置し排水路へ、雨水は自然浸透とし、オーバーフロー分は排水路へ流します。

現地調査の結果、何ら問題はないと思います。御審議のほどよろしくお願い致します。

続きまして、10番の案件について御説明いたします。

転用目的は進入路及び排水路です。これは4条転用申請の議案番号4番と関連しております。4条でも始末書が読み上げられたとおり、既に進入路及び排水路として利用されています。議案書に記載のとおり、1筆は持ち分の4分の1を、もう1筆は持ち分の2分の1の転用で所有権移転を伴います。

現地調査を行いました。既に進入路及び排水路として利用されていますが、4条での始末書のとおりですので、問題はないと思います。御審議のほどよろしくお願い致します。

続きまして、11番の案件について御説明いたします。

転用目的は進入路です。これも4条転用申請の議案番号4番と関連しています。議案番号9番の個人住宅の横の土地に譲受人の住宅が建っており、現在貸家として利用されています。その貸家への進入路としてこの土地を通らなければならないた

めの申請です。既に進入路として使用されていますが、持ち分の2分の1の転用で所有権移転を伴います。

現地調査を行いました。既に進入路として利用はされていますが、4条での始末書のとおりですので問題はないと思います。御審議のほどよろしく申し上げます。以上です。

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。

5条申請につきまして委員の説明が終わりましたが、皆さんから御意見、御質問はございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） 御質問、御意見がなければ採決に移ります。

議第43号農地法第5条の規定による許可申請11件につきまして、原案どおり許可することに異議のない方は、挙手をよろしくお願いいたします。

（全員 挙手）

○議長（下川 安君） はい、ありがとうございました。採決の結果、異議なしと認め、議第43号につきましては、許可することに決定いたしました。

続きまして、議第44号農用地利用集積計画の決定を議題といたします。件数は30件です。

それでは事務局より説明をよろしく申し上げます。

○事務局長（二階堂正一郎君） 9ページをお願いいたします。

議第44号農用地利用集積計画の決定について。農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画について、次のとおり決定する。令和6年8月5日提出、玉名市農業委員会会長、下川 安。

10ページから11ページの総括表と12ページから15ページまでの集計表のとおり玉名市長より意見を求められております。

15ページをご覧ください。今回は所有権移転が11件、29,805㎡、利用権設定が19件、54,478㎡、合計30件、14,283㎡の集積で、いずれも農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしているものと判断し、御提案しております。

よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（下川 安君） はい、事務局の説明が終わりましたが、皆さん、御意見、御質問はございませんでしょうか。

（なしの声）

○議長（下川 安君） 御意見、御質問がなければ採決に移らせていただきます。

議第44号農用地利用集積計画の決定30件につきまして、原案どおり決定する

ことに異議のない方は挙手をよろしくお願ひいたします。

(全員 挙手)

○議長(下川 安君) はい、ありがとうございました。採決の結果、異議なしと認め、議第44号につきましては、原案どおり決定いたしました。

-----○-----

5. 報 告

○議長(下川 安君) 次に報告に移ります。

報告第20号農地の賃貸借及び使用貸借解約通知書についての21件を事務局より併せて報告いたします。

○事務局長(二階堂正一郎君) 16ページをお願いいたします。

報告第20号農地の賃貸借及び使用貸借解約通知書について。農地法第18条第6項の規定による合意解約及び農地使用貸借解約が成立した旨の通知を受理したので報告します。令和6年8月5日提出、玉名市農業委員会会長、下川 安。

今回は16ページから21ページまでの21件、合計60,021㎡の解約通知を受理しております。

以上で報告を終わります。

-----○-----

6. 閉 会

○議長(下川 安君) はい、ありがとうございました。

以上で本日予定の議案審議それから報告が終わりましたので、これをもちまして令和6年第9回の農業委員会総会を閉会いたします。

-----○-----

閉 会 午後3時09分

以上のとおり、会議の次第を記載し、その相違ないことを証するためここに署名捺印する。

令和6年8月5日

玉名市農業委員会会長 下川 安

農 業 委 員 坂本 正敏

農 業 委 員 小山 包昭